

放送日 平成31年2月1日(金)
担当者 水道施設課 大屋 光平

おはようございます。水道施設課の大屋光平です。私は現在4年目で入庁してからずっと管理担当の仕事をしています。管理担当の主な仕事の中に公道における漏水対応があります。先日、札幌市の新琴似でもありましたが、漏水はいつ起きてもおかしくなく、規模によっては断水、道路陥没や住民宅敷地への土砂流入、冬であれば道路凍結などが起こりうるため迅速な対応が求められます。漏水が発生した際、現場対応に必要な様々な情報を調べてから現場に向かいます。その際に使用するのがマッピングシステムという水道の様々な情報を検索できるシステムです。昨年度までは水道施設課の専用のパソコンから印刷した資料を現場へ持っていき、その限られた資料で対応するという非効率な現場対応をしていました。印刷に時間がかかったり、現場で追加資料が必要になるなどの問題点がありました。そこで業務効率改善を図り、タブレット端末によるマッピングシステム導入し、現場で自由に様々なデータを見ることが出来るようになりました。車で移動中にも使用でき、現場から別の現場へ直行しても対応できることや、漏水以外の業務でも活躍するなど様々なメリットがあります。また、昨年9月の北海道胆振東部地震の際も停電の中即座に使うことができました。導入から1年ほどですが予想以上に便利で、現場対応の効率が格段に良くなりました。

また、このシステム導入について昨年10月福岡で行われた日本水道協会主催の全国水道研究発表会で発表をしてきました。このシステムは全国的に見ても先進事例で、会場には約100名が入場し、立ち見の人もいたほどでした。準備など大変でしたが良い経験になりました。

今回のシステム改善のように、これからも既存のやり方に囚われることなくことなく、業務効率の改善を意識しながら取り組んでまいりたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年2月4日（月）
担当者 水道施設課 伊藤 圭亮

おはようございます。水道施設課の伊藤です。

現在私が担当している業務内容は、地面に埋設されている古くなった水道本管を更新する為の設計・積算、工事の監督業務を主に行っています。

話は少し変わりますが、皆さんはハンバーガーを1個作る過程で、どのくらいの水が使われているかご存知でしょうか？

実は約3,000リットルもの水が使われています。これは主に、ハンバーガーの原材料となる小麦、レタス、トマト、牛肉が生産される過程で使われた水の量を全て足すとこの数字になるといわれています。

一般的な家庭用のお風呂の浴槽の容量は約200リットルであるため、ハンバーガーを1個残してしまうと、浴槽15杯分もの水が捨てられていることと同じになります。これは他の食べ物にももちろん同じく言えることで、食べ物を残すという行為は、大量の水を無駄にしていることと同じなのです。

なぜこのような話をしたかという、この話は、ずいぶん前から雑学程度で知ってはいたのですが、頭の片隅にある程度でした。ですが、平成30年9月6日、北海道胆振東部地震をその身に経験し、水というものの重要性を改めて再認識したからです。

これから歓送迎会のシーズンが近づく中、会を楽しむのはもちろんのことですが、出された料理を残さずに食べきることは水を無駄にしないこと。今一度心がけてみてはいかがでしょうか？

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年2月5日(火)
担当者 下水道課 横山 俊也

おはようございます。下水道課の横山です。私達は近年、様々なメディアからの情報に接する機会が増加していますが、次の話から情報の信憑性について考えてみたいと思います。皆さんは「肥った豚になるよりも、痩せたソクラテスになれ」という言葉を聞いた事がありますか。東京オリンピックが開催された1964年に経済学者の大河内一男氏が、ある大学の卒業式で語ったとされる言葉です。当時は、新聞やテレビで大いに報道されました。

しかし、この言葉は実際には卒業式では語られていません。草稿がマスコミの求めにより事前に出回り「語ったかのように報道された」というのが真相です。これが第一の間違いです。

また、この言葉の主語の「大河内一男氏は」という部分ですが、これは彼自身が考えた言葉ではなく、英国の哲学者のミルの論文からの借用です。マスコミに渡した草稿には「英国の哲学者のミルの言葉から」と書いているので正当な引用ですが、マスコミは彼自身の言葉であるかのように報道し、一般でも同様に伝えられて来ました。これが第2の間違いです。

次に内容ですが、実はミル自身の著作には「肥った豚になるよりも、痩せたソクラテスになれ」とも「なりたい」とも全く書かれていません。これが第3の間違いです。大河内氏は自分の記憶に残る、ミルの言葉を自分なりにアレンジして創作したのが真相です。さて、私達が日頃、接している情報の一部は、上記の話のように伝わっている可能性があります。私達は日々、目にしたり耳にする情報に対して受動的に接するのではなく、出来るだけ検証・吟味する態度・姿勢が必要だと思えます。なお、この話は仏文学が御専門の石井洋二郎氏の平成27年3月の式辞を参考にさせていただきました。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年2月6日(水)
担当者 下水道課 鈴木 直哉

おはようございます。水道部下水道課の鈴木直哉です。

今日は、私が男性職員として北広島市で初めて育児休業を取得した経緯についてお話しをさせていただきます。

育児休業を取得したのは、平成24年2月27日から3月11日までの2週間です。この時は、二人目の子供が生まれたタイミングで、長男が2歳3か月の時でした。出産後2か月程、妻が実家で過ごしたため、北広島の自宅に戻った時から育児休業を開始しました。

生まれた二人目のため、と思って取得した休業ですが、実際には長男と過ごす時間がほとんどで、朝早くから散歩をしたり、動物園に連れて行ったり、それまで以上に長男との絆が深まった2週間となりました。

育児休業を取得するときが一番の心配は、やはり経済的な部分でした。2週間の休業でしたが、当時は、手当金の割合が給料の60%でしたし、勤勉手当も5%減額になる状況でした。さらに、社会保険料について免除の制度があるのですが、これは規定上月をまたぐ場合でないと免除されない、ということはこの時に初めて知りました。

また、育児休業に入る前、育児時間という特別休暇を取得しました。これは市の規則に基づくものですが、1歳に達しない子を養育する職員が授乳等を行うために1日2時間取得できるもので、男性職員も、その男性職員が保育しなければならない場合に限り取得できるとされています。

私の場合、男性としては異例ですが、職員課と協議を重ね、2週間育児時間制度を利用しました。

有給の特別休暇や夏季休暇、通常の有給休暇等で育児に関するお休みを取得される職員の方がほとんどだと思います。実際、私が育児休業を取得して以降、男性職員で育児休業を取得する方は一人も出ていません。

私には、そのことがとても残念です。

私は、育児について、妻のサポートや、手伝いをする、という意識を持ったことはありません。育児は女性も男性も自分自身が主役です。有給の特別休暇で十分とするのか、無給であっても自分の権利として育児休業を取得するのか、自分自身の育児について一度ゆっくりと考えていただきたいと感じています。

長沼町にいる友人ですが、今年度1週間の育児休業を取得しました。長沼町の男性職員第1号です。忙しい部署にいますが、やはり職場の後押しが決め手だっ

たようです。

忙しい部署で、なかなか普段のお休みをとることが難しい方も多いと思いますが、育児休業を取得できる期間は限られています。たとえ数日間であっても、ぜひ子育てに専念できる貴重な時間を過ごしていただきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいadak大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年2月7日(木)
担当者 下水道課 岸 祥太郎

おはようございます。水道部下水道課の岸です。

下水道課では、主に下水道管や下水処理センター内にある機械・電気設備の更新を行っています。下水道とは、家庭からの雑排水・工場事業場からの排水・雨水等の下水を安全に川や海などに排出するための施設のことを言います。北広島市の下水道は、分流式で雨水管と污水管が完全に分かれていて、雨水は河川に、污水は下水処理センターへ放流されています。

当市の下水処理センターでは下水だけではなく、生ゴミ及び1市3町(北広島市・長沼町・由仁町・南幌町)のし尿・浄化槽汚泥の受入を行い、下水汚泥、生ゴミ、し尿・浄化槽汚泥を3種混合し、消化槽へ送りバイオマス化处理し、発生したメタンガスをボイラーや乾燥機の燃料として使用することで、燃料の削減を行い、CO₂の排出量を抑制し、環境に配慮した施設となっております。

下水道はあまり人目に付きにくく、良いイメージを抱く人は少ないですが、理解・関心を深めて頂くツールとして、マンホールカードが全国の市町村で配布され、注目されています。当市においても、北広島駅にあるエルフィン市民サービスコーナーにおいて商工会のキャラクターである「まいびー」をモチーフにしたマンホールカードが配布され、全国各地から月に約200の方がカードを求め、訪れています。マンホールカードに書かれている、マンホールは市内に数箇所設置されていますので興味がある方は探してみてください。

話は変わりますが、昨年9月6日に発生した胆振東部地震では、市内全域ブラックアウトにより停電が起き、下水処理センターでは自家発電設備の工事中であったため仮設の自家発を起動させ、マンホールポンプ所では揚泥車による吸引を行い対応し、電気が使用できないことによる不便と恐怖を感じました。今回の地震についての記憶が風化しないよう、日ごろから備えたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年2月8日（金）
担当者 下水処理センター 澤田 義勝

おはようございます。下水処理センターの澤田義勝です。

下水処理センターでは、市内全域にわたり下水処理を行っています。近年下水汚泥、生ごみ、し尿を混合処理し乾燥させて肥料を製造しています。

私は、製造した乾燥おでい肥料の搬送確認業務を主として、その他施設の修繕工事・委託の発注、監督もしています。

今日は、乾燥おでい肥料についてお話したいと思います。通常乾燥おでい肥料は産業廃棄物扱いとなりますが、市内農業者にて北広島市乾燥おでい農地利用組合を設立し、現在産業廃棄物再生利用業の指定を受けて組合員の農地に搬送しています。なお、この指定は5年毎更新となっていますので今年度更新申請を行っています。肥料の製造量は1週間で平均14tです。

搬送の頻度につきましては、週1回業者に委託しています。

また、年に4回乾燥おでい肥料に含まれる重金属等の分析を行い安全性の確認をしています。さらに、概ね3年に1度、土壌のモニタリングを無料でを行い土壌の状態を組合員に知らせています。

なお、下水処理センターでは、市民還元用として1袋当たり9kgの乾燥おでい肥料「あしるのめぐみ」を4月14日（日）と翌15日（月）に1袋100円にて1世帯10袋までの販売を予定しています。市の広報とホームページでもお知らせします。

このように下水処理センターでは、持続可能な循環型社会形成に日々取り組んでいます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年2月12日（火）
担当者 契約課 佐藤 幸子

おはようございます。契約課の佐藤です。

契約課に異動になってもうすぐ1年になります。

現在契約課では、1月21日から2月21日まで2年に一度の入札参加資格審査の申請中です。

前回29・30年度には、2,131件の登録がありました。今回はそれを上回る申請が予想されます。

各課の皆さんへ、未登録の業者の方がおりましたら必ず登録するようお知らせをお願いします。

契約課の仕事は、所管する法令・条例・規則・要綱・要領の取扱いが非常に多岐に渡っています。定期的な仕事はもとより、突発的な課題・問い合わせが非常に多く

毎日が緊張の連続です。年度末の発注は駆け込みにならないよう、物品購入等計画的な発注をお願いします。

また、執行計画の締切も2月15日と迫っておりますので忘れないようお気をつけください。

毎日が目まぐるしく過ぎていくこの頃、体調管理には十分気をつけてバランスのとれた食事と質の良い睡眠をとるように心がけています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年2月13日(水)
担当者 議会事務局 葛西 由美子

おはようございます。議会事務局の葛西です。

私は入庁12年目となり、これまで窓口業務からイベント運営など様々な部署でたくさんの経験をさせてもらいましたが、その中で感じたことは、市役所では異動とともに業務内容や環境が大きく変わるため、12年間勤務していても、同じがないということです。

現在の議会事務局でも、業務内容も今までとは異なり、定例会や各委員会等の開催に伴う日程調整、会議録や議会広報の作成。議員や他都道府県の議会事務局との視察日程の調整。

また、議長の上京等での会議については、主に局長、各委員会の行政視察研修では担当者が随行するなど、局長を含め6人という少人数で多岐にわたる業務を遂行しています。

その中でも、定例会に伴う業務は、煩雑な内容ではありますが、一連の動きを覚える機会が4回と限られており、既に3回が終わってしまいましたが、まだまだ覚えることも多く、現在も不安があれば、事務局やいろいろな部署の方に確認し、教えてもらいながら日々学んでいます。

今月19日には、平成31年第1回定例会が開会するため、部課長をはじめ多くの皆様のご協力をお願いいたします。

最後に、昨年4月の異動で初めて女性管理職のもとで働かせていただき、これまでとは異なる気遣いや対応方法などたくさんのお話を学ぶことができました。

これからの市役所生活に生かせるよう頑張りたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張らしましょう。

放送日 平成31年2月14日(木)
担当者 会計課 原田 啓之

おはようございます。会計課の原田です。

昭和51年に入庁してから、現在43年目を迎えています。平成28年3月で定年となり、同年4月からは再任用職員として、会計課に配置されてます。

会計課では歳出担当で、支払いする際に相手方・金額・振込み口座、名義等に誤りがないか確認する業務内容となっています。3人のチェックにより重大事故は、発生していません。

これも、素晴らしいスタッフ・上司とのコミュニケーションに恵まれた事が、働きやすい環境になっている大きな要因だと思います。各部・課に置かれましても素晴らしい環境の中で業務をされていると思いますが、万が一そうでもないと感じた人がいましたら、環境作りから始めてみては、いかがでしょうか。きっと楽しい職場になると思います。

仕事内容は、どこも大変だと思います。だからこそ職場内のコミュニケーションが大切だと長年思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年2月15日(金)
担当者 農業委員会事務局 佐藤 勇輝

おはようございます。農業委員会事務局の佐藤勇輝です。

私は小学生の頃より相撲をしています。大した選手ではありませんが、決して大きくない身体でどうやったら勝てるのかを考え、競技を続けてきた結果、ついに今年が20年目のシーズンとなりました。

先日、インドア子ども相撲大会に審判として参加させていただきました。負けて泣き出す子もいて、自分も負けてよく泣いていたので、懐かしく感じていました。

子どもたちの白熱した取組をみて、特に感じたのは、勝ち上がっていく子どもたちは、頭を使って考えて相撲を取っていると思いました。

私は、相撲で勝つためには自分の力を相手に伝え、押す、前にでることが重要だと思います。どうやったら効率的に相手に力が伝わるか考えてみることは「頭を使う」ことですし、相手に体に頭をつけて押すことも「頭を使う」ということになります。勝ち上がっていく子どもたちにはそれぞれに工夫があり、ただ相撲を取るのではなく、「頭を使った相撲」を取っていて、長く競技を続けている私も、初心者の子どもたちに感心させられました。

当然、相手がいることなので、体力差、体格差もあり、考えてやってみただけからといって必ずしも上手くいくとは限りません。しかし、自分で考えやってみることは、ただ取り組むよりも、確実に勝ちに結びつくと思います。

仕事においても、自分が考えたとおりにいかないことで失敗もありますが、様々なケースを想定して、どうすれば上手くいくかを考え工夫し、取り組むことが大切であると、相撲を通じて、子どもたちに改めて感じさせられた一日となりました。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年2月18日(月)
担当者 学校給食センター 齋藤 洋平

おはようございます。学校給食センターの齋藤です。

今日は仕事を進めるうえで心がけていることやモチベーションについて話したいと思います。

私は、仕事を進める上で謙虚な姿勢と感謝の気持ちを持つことを意識しています。そのように意識しているきっかけは、数年前にあるテレビ番組で10年ぶりぐらいに芸能活動を再開したタレントのヒロミさんが一般の社会生活を送る中で「謙虚」と「感謝」は大切であると発言されていたことです。1990年台、バラエティ番組などで拝見していたヒロミさんからは想像できなかったことから「謙虚」と「感謝」という言葉が印象に残りました。その日から私は、公務員はサービス業であることから市民対応などでは「謙虚」な姿勢に心がけ、仕事上で不明な点を教えてもらった時など、相手の年齢に関係なく「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えるように心がけています。こうしたことは、された側に伝わり市民満足度の向上や職場での良い人間関係づくりにつながると 생각합니다。

次にモチベーションについてです。私は、モチベーションを保つ上で意識していることは、「置かれた場所でどのように取り組むかは気持ち次第」ということです。

「置かれた場所(職場や立場、役職など)」は、自分から変えられないことなので、割り切って与えられたことや取り組むべき課題に対し自分なりに一生懸命努力することが大切であると思います。このように考えることで仕事を前に進める気持ちを持つことができるのではないのでしょうか。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年2月19日(火)
担当者 学校教育課 竹内 大樹

おはようございます。教育部学校教育課の竹内です。

早いもので、私も入庁し8年が経過しようとしています。8年も経てば、仕事のやり方も身につき、良くも悪くも「慣れてきた」頃を迎えています。私の場合、市役所という世界の、“「普通」になった”と、言えるのかもしれませんが。

皆さんは「コンビニ人間」という小説をご存知ですか。主人公はどこか周りに馴染めず、いつも周りから偏見の目で見られてしまいます。しかし、コンビニという、マニュアルに雁字搦めにされた世界では、「普通」として、世の中の「部品」となり役に立つことができました。主人公を通して、“「普通」とは何か”を問う話題作です。

多くの人はず知らず知らずのうちに、周りに溶け込み、いわゆる「普通」になろうとしていないでしょうか。「普通」にならないと、世の中や人間関係から遮断されてしまうことを、これまでの人生経験の中で体感してきたからかもしれません。

しかし、仕事をする上ではどうでしょうか。人口6万人に満たない小さなまちが、ボールパークの誘致に成功しました。「普通」では成し得なかった夢が現実になりました。「普通」という枠にとらわれず、高い情熱と創造性を発揮できる職員がいたからこそ成し遂げられたのかもしれませんが。

『「普通」になっていないか。』時折、自問自答してみようと思います。いつか、何か大きな成果が生まれるかもしれません。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年2月20日(水)

担当者 学校教育課 佐野 央馬

おはようございます。学校教育課の佐野央馬です。

本日は、私が担当している業務の一つである「教科書」のことから、話をしたいと思います。

小中学校ではご存知のとおり、教科書を使って授業が行われていますが、児童生徒が使う教科書については、これからの社会を担う子供への期待を込め、国の税金により無償で支給されています。義務教育だから当たり前だと思うかもしれませんが、全ての教科書が無償で支給されるようになったのは、昭和38年度の小学校1年生に支給されたものが始まりで、それ以降無償で支給される学年が拡大され、昭和44年度以降、小中学校の全学年で教科書が無償で支給されることとなりました。

昭和22年度から現在の義務教育が行われていますが、教科書が無償で支給され、学習できる環境が整えられるまでに15年以上かかるなど、多くの苦労や努力があって今日にいたっているのだと思います。

さて、市の職員として、いくつかの政策・制度の実施に携わっていますが、それぞれの政策には教科書ともいえる法令や規則があります。

私は、日頃業務を行う際、それらの法令の全体を読むことはなく、目の前の業務に必要な部分だけを読んでいることがほとんどですが、全体を読まないでいることは、法令・政策が作られた時の目的などを知らないまま業務を行っていることになってしまい、法令・政策を作ってきた先人に失礼だったなと感じています。

法令等は、小中学校の教科書と同じく無償で読むことができます。これからはできるだけ全体を読むように心がけ、業務に取り組んでいきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年2月21日(木)
担当者 社会教育課 小川 雅矢

おはようございます。社会教育課の小川です。

先日、「まちを好きになる市民大学」での約2年間の課程を終え、卒業をすることができました。

この「まちを好きになる市民大学」では、北広島市の歴史や地形、動物や植物の生態について等、様々な分野を学び、フィールドワークに出て地蔵や石碑等の遺産巡りをする等、とても有意義であり、自分自身のためとなる時間を過ごすことができました。定期試験やレポートの提出もあることから、良い意味で大学生に戻った気持ちにもなれました。

さて、皆さんは北広島市のことが好きでしょうか。好きな人は、北広島市のどこが好きでしょうか。住みやすい、交通の便がよい、自然が多い、人それぞれの答えがあると思いますが、どれも北広島市のいいところであることは間違いのないと思います。好きなところが浮かばなかった方や、北広島市のことをもっと知りたい方は「まちを好きになる市民大学」に入学してみてもいいでしょうか。新たな発見があると思います。

これからも市の職員として、北広島市の良いところ、好きなところをたくさん見つけていきたいです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年2月22日（金）

担当者 社会教育課 古内 誠也

おはようございます。社会教育課兼中央公民館の古内誠也です。

今年度から社会教育主事という専門職の発令をいただき、中央公民館で仕事をさせていただいております。初めは、大きく変わった環境の変化に不安と戸惑いを感じていましたが、まもなく1年が過ぎようとしています。

最近では、カラオケサークルさんの素晴らしい歌声が聴こえてくると、「この声は〇〇さんだな」とわかるようになってきました。

公民館は他の市有施設と違い、政治活動や営利活動、宗教活動での利用ができない社会教育施設です。市民の方が安心・安全に生涯学習活動ができる施設として昭和49年に建てられ平成27年にリニューアルオープンしております。昨年度は約2万9千人の利用があり、陶芸やカラオケ、ダンス、手芸などの他、講演会や研修会の会場として多くご利用をいただいております。

この公民館というとても地域に近い「現場」で業務にあたる中で昨年度までと大きく変わったことは、市民の方と直接、面と向かってお話させていただく機会が格段に増えたことであり、話し方ひとつから勉強させていただいている日々です。

時には厳しいご意見をいただくこともありますが、団体、サークルの発表会や地域の行事にお呼びいただけることも少しずつ増え、顔がわかる関係を築かせていただいていることは、私自身の仕事のやりがいになっていると同時に顔がわかる関係だからこそ半端なことはできない。しっかりやらねばと思わせてくれます。

漁師の方の現場が「海」、宇宙飛行士の方の現場が「宇宙」だとしたら私の現場は「地域」であると考え、今後も「現場主義」で当市の社会教育、生涯学習の推進に少しでも寄与できるよう努めてまいります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年2月25日(月)
担当者 教育総務課 田中 崇喜

おはようございます。教育総務課の田中です。

私が担当する業務の一つに学校 ICT 環境整備というものがあり、学校のパソコンやインターネット環境をはじめとする情報通信環境の整備を行っています。

今年度は中学校教育用 PC258 台のタブレット化での更新や、小学校の教室のプロジェクター82 台の更新等、様々な財源を活用して 1 億円を超える整備を行っています。現在、市内小中学校には約 1 千台の PC があり、これは本市行政管理課所管の PC 台数を優に超えるものです。

さて、先日、教育長講話の中で、小学校に入学した児童の半数程度は、今は存在していない職業に就くというアメリカの研究者の話をされたことが印象的でした。そこで、ICT の観点から将来について話したいと思います。

「AI で BI」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。これは AI (人工知能) の発達が BI (ベーシックインカム) の議論に繋がるという言葉です。私たちの仕事の半分が、早ければ 10 年で AI に置き換わるという調査結果もあることから、将来は既存の年金や生活保護の仕組みではない、BI の議論が起こるだろうという意味です。

金融業界では既に AI 化が進んでおり、ゴールドマンサックスはトレーダーが約 500 名から 3 名に減り、みずほ銀行も 8 年間で 1 万 9 千人の人員削減を発表しています。本市においても例外ではなく、つい先日、総務省の自治体戦略 2040 構想の報告書で、AI 等の破壊的技術を活用し、より少ない職員で効率的に事務を処理するという文言で表現されています。

私たちも、今は存在しない職業や社会構造に、柔軟に対応する力がより求められることになると思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も 1 日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年2月26日(火)

担当者 エコミュージアムセンター 畠 誠

おはようございます。エコミュージアムセンターの畠です。

エコミュージアムセンターは、オープンしてから今年で5年目を迎えます。北広島では初めての博物館的な施設ということもあり、様々な事業を展開すると共に、市民や、遠くは本州の方からの問い合わせなども多くなりました。

様々な仕事がある中でも、展示もその大切な仕事の一つです。

展示は、大きく常設展示と企画展示があります。常設展示は、いつも見ることができる展示です。それゆえ、これを見れば北広島のことが大体わかる、というものを展示しています。例えば、昆虫や動物化石、縄文人が使用した土器・石器、また、明治時代の開拓に係わる古文書や生活用具などです。このようなモノ、コトから北広島の自然や歴史などをわかりやすく展示しています。

一方、企画展示は、テーマを決めて期間限定で行う展示です。その内容は、常設展示よりも内容を深く掘り下げて行います。常設展示では表現しきれなかったことや、常設展示の内容から離れ、一つのモノ・コトにこだわった展示も行っています。

エコミュージアムセンターでは、オープン当初から来館者数を調べています。また、アンケート用紙などを置いて、展示に対する評価などを書いていただき、次回の展示に役立てています。

来館者数では、短期のイベント開催時には1日200人くらい来館します。また、人気がある企画展開催時には1日平均80人くらい来館します。

アンケートの内容では、「すばらしく、興味深く見れた」、「年々、充実しているように感じた」などや、最近では道外の方にも、「無料でとても楽しめるミュージアムでした。もっと広まればよいと思います」というような、嬉しい声が聞かれます。

私たちは今後もこのような声が聞かれるように、市民を初め、北海道内外の方にも北広島の魅力を伝えていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年2月27日(水)
担当者 文化課 太田 小華

おはようございます。教育部文化課の太田小華です。図書館と文化ホールは、昨年の10月に開館20周年を迎えました。図書館には、日々の活動を支えてくださるボランティア組織の総称として図書館フィールドネットというものがあり、現在9団体、個人会員も含め140名の方が活動されています。フィールドネットもまた、20周年を迎え、先日、記念誌が発行されました。

図書館は本を借りることができる場所ですが、記念誌を読み改めて思うことは、図書館は、本を通して、人と人がつながる場所でもあるということです。お腹にいる赤ちゃんから、おじいちゃんおばあちゃんまでがつながっていけるような場所としての図書館でありたいと思います。

最後に、私が大切にしている「最初の質問」という絵本を紹介させてください。

図書館では毎年秋に読書まつりという事業を開催していますが、その中で、ゲストとして来ていただきたいせひでこさんの絵本です。いせさんの娘さんが結婚されるときに、この本に書かれていることを大切にすれば大丈夫と送り出されたそうです。私事ではありますが、私にも二人の娘と一人の息子がいます。いつか子どもが旅立つときに、私も手渡したい一冊です。

図書館にも所蔵がありますので、ぜひ、一度読んでみてください。

気持ちの良い挨拶は、職員に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員みなさんが心に抱く大志を結集し、本日も一日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年2月28日(木)
担当者 消防本部総務課 菊池 亮多

おはようございます。消防本部総務課主査の菊池です。

今回、2年ぶりの朝スピーチとなります。

次年度4月1日から当市において女性消防吏員が誕生します。実は前回のスピーチで女性消防吏員の採用についてお話させていただきました。その時は、まだ採用には至っておらず、平成38年度までに国が示す女性消防吏員の割合を5%に引き上げるという指針のもと進めていましたので、先ずは一步前進という感じですが、身が引き締まる思いです。

先日、今回の採用と最近メディアで取り沙汰されているパワハラ問題の関係から部内において職員の意識付けのため、職員課の猪野さんに講師を依頼してハラスメント研修を開催しました。

この研修を聴講した中で、私は「思いやり」と「気づき」という言葉が先ず頭に浮かびました。と言うのも、消防は非常に仲間意識が高い職場と言えます。3分の2以上の職員は隔日勤務の人たちですので、24時間寝食を共にしており、半ば家族のようなものであります。やはり、このような職場環境ですので、職員同士における「思いやり」であったり、「気づき」というのが、非常に大切ではないかと考えたからです。

今後についても、時には過酷な災害現場を共に経験したり、厳しい訓練で共に汗をかき、熱い議論を交わしたりもする職員をボタンのかけ違いがないよう、少しでも風通しの良い、信頼関係の築ける職場環境に努めていかなければならないと考えております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。